



町長日誌 No.117

町長日誌の第117号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月23日(火) PM2:30

今日、男性で町内最高齢者101歳の小柳富雄さんの葬儀がしめやかに行われました。昨年9月に行われました敬老会には、ご本人が元気に出席され、内閣総理大臣表彰の伝達と町からのお祝い金をお贈りすることが出来ましたことは、私にとっても大変良い思い出になりました。また、小柳さんご本人もこの式の出席が叶うため、元気でいることに心掛けていられたようで、満100歳のお祝いが出来て本当に良かったなあと思っています。小柳さんの素晴らしいところは、息子さんご夫妻がどうしても留守にしなければならない時、きらりのショートステイを嫌がらず、普段の生活においても、ご自分の生活リズムを崩すことなく、出来るだけ自分で自分の事は行おうとする気持ちが強く、坦々と毎日を過ごされていたことです。今年6月に入ってから少し食欲が落ち、転び易くなったため名寄市立総合病院を受診したところ、軽い脳梗塞と言う事で10日ほど国保病院に入院しましたが、亡くなる前の日も3食を平らげていたと言うぐらいお元気でした。小柳富雄さんの時計は、大正元年9月9日に動き始め101年の時を刻み、平成25年7月21日の朝にその動きを静かに止めました。心からのご冥福をお祈りいたします。

7月5日(金)

茨城県阿見町の天田町長と職員の4名が本町に視察に来られました。皆さん「阿見町」ってご存知でしたか？阿見町は、人口5万人弱の新興都市で土浦町の隣に位置し霞ヶ浦に面しており、昭和14年に創設されました「海軍飛行予科練習部」(通称・予科練)があった町です。合併して阿見町となりましたが、重要港である常陸港に近く高速道路のインターチェンジもあり、大学や工業団地さらには、アウトレット産業でも新興地域となっています。雪印メグミルク社は現在、阿見町に本州の工場を集約再編して新たな大型工場を建設していますが、この阿見工場に道内6工場の生乳が移出されることから、そのご挨拶と「これからの交流も是非とも深めたい」と言う目的の来町でありました。雪印メグミルク社では将来、原料乳は北海道を中心にと考え、道内の6(大樹・別海・中標津・標茶・幌延・興部)工場を拠点として出荷された原料乳及び濃縮乳などはタンクローリー車に積まれ、釧路港からホクレン丸に乗って常陸港に陸揚げされ、阿見工場に到着します。現在、道内に雪印メグミルク工場がある六つ町で交流の組織を作っていますので、天田町長さんには、「是非仲間に入って交流を深めて頂きたい」と申し上げました。

7月17日(水)

春から建設に取り掛かっていました、コープさっぽろの宅配システム「トドック・オホーツクセンター」の竣工式に出席しました。

このトドックの宅配サービスは町内でも利用者が多く、今後も高齢世帯や共働き世帯が増える傾向にありますので、さらに大きな事業量になる可能性があり、そのセンターが本町に誘致出来た事は大変に有り難い事で、特に町民の皆さんの利便性は、かなり良くなると思います。これまで、郊外型大型店の進出やコンビニチェーン店などの進出により、それまでの商店街の小売店と問屋の関係が壊れ、駐車場などの利便性が悪い事から日本の良い風習であった「御用聞き」や「配達」そして「移動販売」などが姿を消しつつありました。しかし、高齢化が進み核家族が増え夫婦共働きが当たり前になった今日、その日々の生活を支えるシステムはやはり日本の昔からの方式なのではないでしょうか？欧米に比べ何よりも「鮮度」を重要視する国民性の日本人にとって「トドック」のシステムは、古くて新しく、的を得た販売方法だと思います。

さて、いよいよ夏休みが始まります。それぞれ楽しい計画を立てているご家族も多いと思いますが、最近、交通事故が非常に増えています。どうか十分余裕を持って、楽しい思い出づくりをしてください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL82・2131です。